



障害児者支援センター 虹

社会福祉法人美熊野福祉会

〒647-0072 和歌山県新宮市蜂伏 13 番 43 号

TEL 0735-31-3700(代)

FAX 0735-31-5520

Eメール sien@fm.rifnet.or.jp



生活介護(Aチーム)

Aチームは、一番利用者さんが多い分、毎日がにぎやかです。朝のみなさんの元気な挨拶から始まり、みんなで一緒に会話を楽しみながら活動しています。

左側の写真はAチームの活動で園芸活動をしている風景です。野菜を植え、収穫する楽しみをみんなで味わっています。

もう一枚は夏に竹を使った流しそうめんの様子です。思ったよりそうめんがつかめず、みなさん苦戦していましたが、上手くつかんで食べることが出来た時は、とても美味しそうでした。

春の遠足はみんなで行先を考えて、三重県にある鉱山資料館へ見学に行きました。本物の大判小判を見たり、触ったり、昔の鉱山に関する資料を見学して楽しみました。

今後も季節に応じて行事を実施し、みなさんが楽しく過ごせるよう努めていきたいと思ひます。(支援員 植地)

生活介護(Bチーム)

Bチームでは、日々の活動の中に空き缶つぶし作業を取り入れています。アルミ缶の洗浄や仕分け、納品の際には計量等も行っています。

『作業をすること』ではなく、『参加すること』に重きを置いており、参加の仕方は人それぞれです。自分一人でどどんつぶす人や、プルタブを取る事に夢中の人、缶を渡す人等々、それぞれ出来る範囲、マイペースで取り組まれています。

そして、つぶした空き缶は毎月納品に行きます。その売り上げから、作業の回数や量に応じて作業代金をお渡ししています。1か月分はわずかな金額ですが、毎月心待ちにしている方もいますし、何か月分かを貯めておいて、おやつを食べに出掛けたりしています。幸せの一場面です。(支援員 中村和義)



園芸活動



流しそうめん



空き缶つぶし作業

生活介護(Cチーム)

今年の夏、Cチームではかき氷作りやプール遊びをしました。暑い時にしか出来ない、季節感を感じてもらえるような取り組みが出来てよかったと思ひます。

また、春の遠足として勝浦御苑へお昼ご飯を食べに出かけました。品数も多くお腹いっぱいになり、利用者さんも満足して頂けたと思ひます。普段とは違う場所で調理された料理を刻んだり、ペーストにしたりとなかなか大変でしたが、利用者さんだけでなく職員も良い経験ができました。これを活かして、もっと利用者さんに喜んでもらえるような活動を計画していきたいと思ひます。(支援員 辻本)

放課後等デイサービス

平成28年3月に、高等部3年生の児童5名と職員で『白浜アドベンチャーワールド』に出かけました。天候にも恵まれ、ふれあい広場ではアヒルやウサギへの餌やりを体験し、アドベンチャー号からは、動物たちの生き生きとした姿を見る事が出来ました。

カメラを持参して写真撮影に没頭した児童、家族や自分へのお土産を真剣に選んでいた児童、イルカショーを楽しみに参加し大喜びしていた児童、動物たちと見つめ合せて心を通わせていた児童、昼食のメニューをインターネットで事前に調べて参加した児童と、5名それぞれの楽しみ方であったという間に時間が過ぎてしまいました。

事前の準備は大変でしたが、子ども達の喜ぶ姿や笑顔でそんな思いも吹き飛び、また楽しい事を計画しようと決意しました。(児童発達支援管理責任者 谷下)



おいしくいただきました♪

学童クラブ虹

毎日25名ほどの児童が利用されています。宿題を済ませた後におやつを食べて、ドッジボールや鬼ごっこ、トランプ等の自由遊びをそれぞれ楽しんでいます。

また、今夏のお楽しみ企画として、白浜エネルギーランドにみんなで外出しました。3Dシアター・迷路・トリックハウス等普段できない不思議な体験をみんなで楽しむことができました。(藤井久代)



アドベンチャーワールドにて